



仲よく やりぬく たくましい子



令和8年(2026年)1月8日発行 文責 校長 越智弘子

新年あけましておめでとうございます。

目標に向かって努力を続ける年に!

今冬は雪が少なく、暖かくて過ごしやすい年末年始となりました。保護者の皆様におかれましては、健やかな新年を迎えたことと存じます。子どもたちは、保護者や地域の方とゆったりと時間を過ごせたようで、2週間ぶりに登校すると、楽しかった冬休みの思い出を友だちや先生たちに、にこやかに話す姿が見られました。

3学期は、今年度の締めくくりとして、子どもたちの力を十分に伸長し、楽しく学校生活が送れ、次年度につなげられるように、教職員一同、尽力してまいります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

3学期始業式では、次のようなことを子どもたちに話しました。

「目標を持ったら、努力することを続けよう」

今年(令和8年)は、午年(うま年)です。午(うま)は、走るとスピードがあり、行動力があります。それと同じように、みなさんも今年頑張りたいことを決めたら、途中であきらめずに続けてほしいです。

児童昇降口の前に中江藤樹の少年の頃の像があります。中江藤樹は、9歳の頃に親元を離れて勉強することを決めて、鳥取県米子市に御祖父さんと旅立ちました。その後、愛媛県大洲市に移り、頑張って勉強をしていました。ある冬の寒い日に、滋賀県小川村に居る母親のことを思い出しました。寒い中、仕事をして、手にあかぎれができていることを思い出しました。その時の気持ちを藤樹かるたで読んでいます。「遠く居て、母のあかぎれ涙する」という、かるたの札は、みなさんが知っていることだと思います。

中江藤樹は、母親のことを大切に思うので、寒い中、愛媛県から滋賀県まで、あかぎれ膏薬を届けに来ました。その時、お母さんは、とても嬉しかったと思いますが、「今は、勉強に励むために大洲へ行っているのですから、すぐに帰りなさい。」と言い、膏薬は受け取りましたが、中江藤樹を直ぐに大洲に帰したのです。お母さんも中江藤樹も心の中で泣いていましたが、一度決めたことを頑張るために、必要だと理解しました。その後、27歳まで大洲で勉強をして、小川村に帰ってきました。小川村に勉強を教える塾を開き、多くの人が中江藤樹から学びました。その塾は、今は藤樹書院として上小川にあり、みなさんは「藤樹デー」に訪れて、勉強をしています。

皆さんも、目標を決めたら、努力し続けましょう。時には、理由を付けて止めてしまう時があるかもしれません、少しずつ、続けるようにしてください。

今日から3学期が始まりました。3学期は、あっという間に終わります。6年生は、3月に卒業して、中学生になります。1年生から5年生は、一つずつ学年が上がる準備をする学期です。しっかりと、3学期を過ごして、次の学年につなげましょう。

スマホ・ネット教室(5,6年生)

12月18日(木)、5,6年生と保護者を対象にスマホ・ネット教室が行われました。昨年に引き続き、NIT 情報技術推進ネットワーク株式会社より、篠原嘉一氏を招いて、SNSに潜む危険性について話をいただきました。

新聞やテレビのニュースを見ずに、スマホから情報を得るだけでは偏りがあり、「知る権利」を奪われていることや具体的にアプリケーションの名前を出して、使って良いアプリと危険なアプリを教えていただきました。そして、子どもの頃は、何よりも体を動かす体験や子ども同士が向かい合ってするボードゲームが良いと語っておられました。参加された保護者は、「具体的に、日々更新されていくアプリについて教えていただき、勉強になりました。」と感想を述べておられました。

ふじ学級レストラン（大洲名物 芋煮）

特別支援学級(ふじ学級)の子どもたちが、2学期最終日12月23日(火)に、地域の方にお世話になりながら、調理実習を行いました。愛媛県大洲市の伝統料理「芋煮」を作りました。調理した芋煮は、お世話になった地域の方や保育園の先生、保護者の方に食べていただきました。毎年、1学期末と2学期末にレストランを運営し、調理や接待、お金の計算などが上手くできるようになってきました。



教育活動に関するアンケート結果<2学期> ご協力ありがとうございました!

<児童> ・「A:そう思う」、「B:だいたいそう思う」の合計(%) ◦○ 1,2 学期とも評価が高い項目 ▲1,2 学期とも評価が低い項目

| | | 1学期 | 2学期 |
|--|---|-----|-----|
| 1 地域の人と一緒に活動することが楽しい。 | | 91% | 94% |
| 2 子ども会やAC、地域の行事に参加している。 | | 89% | 85% |
| 3 学校では、藤樹先生の生き方や考え方を取り入れた生活をおくれるよう先生から話をしてもらっている。(あいさつをすることや人に感謝の気持ちを持つなど) | | 91% | 97% |
| 4 高学年の人たちは、学校生活が楽しくなるようにがんばってくれている。 | | 93% | 98% |
| 5 先生は、いけないことをしたとき、きびしく注意をしてくれる。 | ○ | 98% | 98% |
| 6 先生は、勉強でわからないときていねいに教えてくれる。 | | 96% | 98% |
| 7 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。 | | 93% | 93% |
| 8 わたしには、がんばっているところやよいところがある。 | | 91% | 93% |
| 9 そうじを時間いっぱいがんばっている。 | | 95% | 97% |
| 10 人が集まる場では、静かにならんだり、話を聞いたりしている。 | | 95% | 94% |
| 11 たわり活動や全校的な行事では、協力して活動をしている。 | | 83% | 90% |
| 12 「おはようございます」「さようなら」などのあいさつや返事をしている。 | ○ | 98% | 99% |
| 13 毎日、朝ごはんを食べている。 | | 95% | 96% |
| 14 思いやの気持ちをもってだれにでもやさしくしている。 | | 97% | 95% |
| 15 学校や家でいろいろな本を進んで読んでいる。(朝読書も含む) | | 92% | 88% |
| 16 進んで学習に取り組んでいる。(塾や習い事等も含む) | | 84% | 74% |
| 17 学習中にタブレットや大型モニターを使うことは役に立つと思う。 | | 97% | 97% |
| 18 友だちと話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。 | | 84% | 87% |
| 19 友だちと話し合う時、自分と違う意見について考えるのは楽しい。 | | 94% | 90% |
| 20 理由をあげて自分の意見を書くようにしている。 | ▲ | 85% | 79% |
| 21 進んで発表している。 | ▲ | 74% | 74% |
| 22 宿題は、忘れずにやっている。 | | 96% | 94% |
| 23 学習していることが将来役に立つと思う。 | ○ | 97% | 98% |
| 24 授業の内容はよくわかる。 | | 96% | 92% |
| 25 勉強中は、先生の話や友だちの話をしっかり聞いている。 | | 97% | 95% |
| 26 学校生活は楽しい。 | | 93% | 90% |

<保護者>

| | | | |
|---|----|-----|-----|
| 1 お子さん達は、子ども会やACなど地域の行事に参加している。 | | 84% | 83% |
| 2 学校は子どものことについて相談しやすい。 | | 84% | 80% |
| 3 学校の様子が学校だより・学級通信・保健だより等でよくわかる。 | | 89% | 89% |
| 4 学校は、子どもに確かな学力をつけるために努力している。 | ○ | 93% | 98% |
| 5 家庭では、子どものよいところをほめている。 | ○ | 94% | 97% |
| 6 家庭では、家の手伝いをさせたり、自分のことを自分でさせたりしている | | 87% | 86% |
| 7 家庭では、子どもに読書の習慣が身に付くように努めている。 | ▲▲ | 38% | 36% |
| 8 家庭では、「早寝・早起き・朝ごはん」のような基本的な生活習慣定着に努めている。 | ○ | 97% | 94% |
| 9 お子さん達は、進んであいさつができる。 | | 81% | 73% |
| 10 お子さん達は、自主学習や宿題などの家庭学習に意欲的に取り組んでいる。 | ▲ | 70% | 73% |
| 11 お子さん達は、学習用具など忘れ物をしないように努めている。 | | 92% | 88% |
| 12 お子さん達は、学校の学習を理解している。 | | 91% | 92% |
| 13 お子さん達は、楽しく学校に通っている。 | | 98% | 89% |

★アンケート結果より、子どもたちは積極的に、あいさつを行っていることが分かります。来客から「気持ちのよいあいさつがあり、素晴らしいです。」と言われています。学習面では、教科担任制の導入や授業者の研修を行い、質の高い授業を目指しています。子どもたちが、「学習していることが将来役に立つ」と感じていることは喜ばしいことです。保護者の方も、お子さんの基本的な生活習慣の定着や良いところを褒めることに努めておられることが分かります。しかし、読書習慣の定着には課題が見られます。学校では朝読書や図書館司書の配置などにより、読書環境を整えていますが、さらに読書に親しめるような活動を行いたいと思います。

★保護者記述では、本校の教育活動や教職員の対応についての感謝の言葉や、中江藤樹の教え『貌・言・視・聴・思』の合唱に感動したなどの意見があり、喜ばしく思います。一方で、教員が見ていない所での子どもの言動が気になると感じておられる方もあるようです。また、PTA 地区役員の男女枠を失くしてほしいや、お便りを配信することも検討してほしいという意見もありました。いただいたご意見を参考に、今後、改善していきます。ご意見、ありがとうございました。